

現代の貧困と医療－医療を受ける権利の侵害と保障をめぐって

政府は皆保険体制の維持を繰り返し強調しているが、保険料の未納・滞納で保険証が渡されない人、窓口負担ができなくて医療機関へ行けない人など、経済的理由で医療を受けられない国民がすでに多数生まれており、皆保険の空洞化が進行している。医療機関へ行けないまま手遅れになり死亡するケースも全国で起きている。そうしたなかで、医療を受ける権利を守るための様々な取り組みも広がっている。例えば、無料低額診療の実施、国保法44条に基づく窓口負担の減免、77条に基づく保険料の減免、医療相談、生活保護申請への支援などである。

以上を念頭に、貧困による医療を受ける権利の侵害がどのように広がり、何が起きているのか、生活保護等の対応すべき制度はどう対応しているか、医療を受ける権利を守る取り組みはどのように進んでいるか、とくに無料低額診療はどこまで広がっていて、どのような役割を果たしているか、課題は何か、などを取り上げ、貧困と医療をめぐると問題と課題について議論を深めたい。

コーディネーター・座長：横山壽一（佛教大学社会福祉学部）

報告1 現代の貧困と医療を受ける権利侵害の実態と課題

吉永純（花園大学社会福祉学部）

報告2 低所得層の医療を受ける権利を守る取り組みの現状と課題

－無料低額診療事業の取り組みを中心に－

岸本貴士（尼崎医療生活協同組合）

（敬称略）

日時：2017年7月30日（日）13時00分～16時00分

場所：立命館大学朱雀キャンパス 307教室（京都市中京区、JR二条駅徒歩2分）

（アクセス方法：<http://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/suzaku/>）

*307教室のある3階までは、朱雀キャンパス千本玄関を入り、右手のエレベーターからのみ、アクセスができますので、そちらをご利用いただきますようお願いいたします。

参加料・参加申し込み：無料。資料準備の都合上できるだけウェブからの事前申し込みを1週間前までにお願いします（<https://goo.gl/forms/831drbq0apDB0dZ73>）。

（事前申し込みをされていない場合でも参加できます）。

主催：日本医療福祉政策学会

共催：立命館大学人間科学研究所 インクルーシブ社会・医療サービスプロジェクト

問い合わせ先：日本医療福祉政策学会

電子メール：office@jshwp.org（<@>は、@に置き換えてください）

Fax: (075)320-1701 Tel: (075)202-8105